

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式								
E111B022		教育相談(Educational Counseling)														
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
必修	2	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 渡辺 亘・溝口 剛										
						E-mail wwata@oita-u.ac.jp(渡辺)・t-mizo@oita-u.ac.jp(溝口) 内線 7585(渡辺)										
授業の概要	学校カウンセリング・教育相談に相当する教職必修科目である。学校現場で遭遇する種々の問題に対処するために、基本的・実践的な考え方や態度・技能を身につける。教育相談の具体的な事例について教育臨床的な視点から問題を理解し、対応のあり方について具体的に論じる。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1 社会的な状況を踏まえて、学校現場に発生している教育相談的な諸課題について説明できる。																
目標2 児童生徒に発生しやすい心理的な諸問題について説明できる。																
目標3 学校現場における教育相談的課題や問題に対する対応や支援について説明できる。																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1 児童生徒が発生しやすい問題と社会的背景																
2 学校現場と心理専門職																
3 児童生徒の心理的問題のアセスメント																
4 スクールカウンセリングにおけるアセスメント																
5 児童生徒の心理的問題の支援																
6 校内における協力体制																
7 専門機関における心理支援と連携																
8 不登校問題の理解と対応																
9 いじめ問題の理解と対応																
10 発達障害の理解																
11 発達障害の対応																
12 自傷行為の理解と対応																
13 摂食障害の理解と対応																
14 保護者への対応																
15 教員のメンタルヘルス																
ラーニング	A:知識の定着・確認	毎回授業の終わりに質問や感想を記入したライティングを提出させる。次回の授業冒頭でライティングの内容を取り上げて解説を加えることによって、対話型の授業となるよう努めると同時に、学生のさらなる省察を深める。				工夫	その他の	専門機関で支援に携わる専門家や第一線で働くスクールカウンセラーによる講義を行い、より具体的な学びを促進する。								
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	ニュースなどから社会的問題、家族の問題、子どもの問題、教育上の問題などについて情報を得るように努める(15h)。														
	事後学修	授業で学習したことを活かし、配布資料や参考文献を用いて復習する。また、ネットから関係する内容について情報収集を行い、学びを深める(30h)。														
教科書	「教育臨床の実際 第2版」武内ら、ナカニシヤ出版															
参考書	「生徒指導提要」文部科学省等															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	毎回のライティング	50%														
	最終テスト	50%														
注意事項	なし															
備考	この科目は『地域創生教育科目』です。															
リンク																
	URL															

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	臨床心理士・公認心理師（渡辺亘、溝口剛）
教員以外で 指導に関わ る実務経験 者の有無	
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	支援専門機関における専門職および臨床心理士・公認心理師
実務経験を いかした教 育内容	事例等を交えて講義することによって、より実践的な理解を促し、省察を深める。